

# 「ブラタモリ」案内人もつとめた 著者の最新刊！

洋泉社 新刊案内  
2019年3月吉日

## 「凹凸を楽しむ 阪神・淡路島「高低差」地形散歩

### 【はじめにより】

その土地の歴史や地形、地質を知ると、今まで見ていた風景が違う景色に見える時がある。ちなみに私自身は古代の風景を妄想しながら歩くことが多い。この本があなたにとっても、そんな地形散歩を楽しむきっかけになれば幸いである。

### 【目次】

阪神広域マップ・淡路島広域マップ

#### I 阪神・淡路島の凹凸地形を楽しむ 高低差概論

- 1 六甲山は動いている
- 2 謎多き神話の国・淡路島
- 3 地形散歩という名の小探検

#### II 阪神・淡路島の高低差を歩く 地形視点で町を眺める

東六甲にひそむ高低差

- 1 西宮 古代の港が古層に眠る町
- 2 甲山 神の山が見守る丘陵
- 3 芦屋 古代から特別だった土地

六甲山南麓の高低差を巡る

- 4 住吉 天井川とともに
- 5 六甲 六甲山の玄関口
- 6 神戸 ミネラルウォーターをはぐくむ

西六甲の地形に隠されたドラマ

- 7 兵庫 夢の跡・始まりの町
- 8 須磨 畿内のへりの高低差

断層と段丘とともに

- 9 明石城 築城400年の城下町
- 10 有馬温泉 断層が導いた奇跡の湯
- 11 宝塚 天才がつくり、天才が育った町

淡路島の知られざる地形

- 12 岩屋 瀬戸内海への要衝
- 13 由良・成ヶ島 古代海路と軍事要衝の地
- 14 沼島 謎に包まれた神秘の島
- 15 三原平野 砂州がつくった景勝地



「ブラタモリ」案内人もつとめた著者の最新刊！

神戸、宝塚、西宮、芦屋、住吉、六甲、有馬温泉、淡路島……

歴史と神話に彩られた  
地形エンターテインメント

美しい3D地形図が満載！ 15エリアの凹凸マップ付

新之介

### 【商品データ】

『凹凸を楽しむ 阪神・淡路島「高低差」地形散歩』

著者：新之介

発売日：2019年3月27日

A5判・208ページ

定価：本体1980円＋税・A5判・208ページ

### 著者プロフィール

新之介(しのすけ)大阪高低差学会代表。1965年大阪市淀川区生まれ。本名は新開優介。広告会社勤務。2007年よりブログ「十三のいま昔を歩こう」を運営し、大阪にとどまらず近畿全域をフィールドとして歴史や町歩きのリポートを執筆。2013年、大阪高低差学会を設立。地形と古代史に着目したフィールドワークを続けている。

著書に『凹凸を楽しむ 大阪「高低差」地形散歩』『凹凸を楽しむ 大阪「高低差」地形散歩 広域編』(いずれも洋泉社)。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社洋泉社 (<http://www.yosensha.co.jp/>) 営業局 松崎憲晃

〒170-0013 東京都豊島区東池袋5-44-15 東信東池袋ビル6F

EMAIL : yosensha.matsuzaki@gmail.com TEL 03-5956-1222 FAX 03-5992-1215

※書籍表紙画像・献本をご希望の方は、右連絡先までご連絡いただければ幸いです。